



あおぎり

学校の教育目標
立志 共創 自立

◇いじめ防止強化週間(6/24~7/3)

「いじめ防止強化週間」の取組の中で、生徒会の代表が、朝、昼、帰りの会に、全校生徒に共に大切にしたいこと、考えていきたいこと、行動していきたいことなどを心に届く言葉で話し続けています。その言葉を聴くたびに、自分も相手も大切にしているかと自分に問い直す大事な時間になっています。

この強化週間の前には、1年生は、6月12日(水)に「人権講話『いじめについて』」を長森東青少年会館長様にお話をさせていただきました。

生徒が自分の生き方を真剣に考える大事な機会になりました。学習後の感想の一部を紹介します。

《学習後の感想》

私は、カエルの話の「少年たちからしたら遊びでも、カエルからしたら、いのちの問題」というのを聴いて、たしかにと思いました。少年たちは、何も考えずに石を投げていただろうけれど、その先には、小さな動物がいて、石から一生懸命逃げているんだなと思いました。いじめている側はたいしたことないと思っていても、いじめられた側は、ずっと頭に残ってしまって、ずっとひきずってしまうとわかりました。「しあわせのバケツ」の話では、人にやさしい言葉をかけると、自分のバケツも相手のバケツもいっぱいになれるんだとわかりました。私は、相手が傷つく言葉を言ってしまったことがあるので、自分とみんなのバケツが満たんになるように、もっとやさしい言葉をかけられるようにしたいです。

今回は、「人権」についての大切さを理解することができた。何気なく言った言葉は、その人の頭に何年も残るかもしれない。そして、悪い意味でその人の人生を変えてしまうかもしれない。これは本当におそろしいと思う。だからこそ、「人権」についての理解を深め、相手の気持ちを考えられるような人間になりたい。過去にも、このようなことがあり、自らの命を絶ってしまった人が何人もいる。だから、「人権」の大切さや、いじめはいけない理由などが世界中に広まって、いじめが二度とおきないように願いたい。

今日のお話を聴いて、実際にいじめにあっているだいすけさんに言葉をかけるおばあさんがすごく優しく温かくて、こういう人が近くにいるとぼくでも心強く、安心できると思いました。また、やなせたかしさんの「人間は、人を喜ばせると、うれしくなる」という言葉にすごく共感できました。たしかに友達などがぼくの言ったことで、笑ってくれた時は、ぼくもすごく心がぽかぽかになります。今日は、心の大切さを再認識することができました。ありがとうございました。

また、6月19日(水)には、全校道徳「ハートフル人権ライブ『いのち・生き合う』」というテーマで、講演会を開催しました。生徒が生き合うことについてじっくりと考える姿が印象的でした。学習後の生徒の感想の一部を紹介します。

《学習後の感想》

私は、今日のお話を聴いて、いじめをしてしまったら、自分もされた人も心に残っていることがわかりました。してしまったことは、もう元にもどせない。そうならないように、人の気持ちをしっかり考えていきたいです。もし、友達がいじめられていたら、見捨てません。今この世の中は、人と比べたり、きょうそうしたりしています。私も今、人と比べてしまったり、きょうそうした時には、負けた自分を責めたりすることもあります。だから、これから心の自分としっかり向き合っていきます。本当に今日は、大切なお話をしてくださって、ありがとうございました。

今日の講話を聴いて、心の中のもう一人の自分と向き合うことの大切さを知った。いじめをしてしまった、人が嫌がることをしてしまったら、自分は忘れようとしていても、心の中では、死ぬまで後悔し続けることになる。謝ることができれば、少しは自分も相手も気持ちが軽くなるかもしれないけれど、謝ろうとした時には、もうすでにその人はこの世にいないことがあって、謝りたくても謝れないことだであるのだと知った。いじめは、相手が一生その苦しみを負い続けることになるし、自分も後悔が残り続ける。誰もががしあわせにならなければならないのだと改めて思った。また、町の中では、生活が不自由な人の立場から大切だというのが、自分勝手な行動によって妨害され、一生の傷を負わせてしまうことがある。いつも思いやりの気持ちをもって、心の中のもう一人の自分と向き合うことで、今後、後悔のないように生きていけると思う。

何かを考える時に、社会全体や日本国内など大きなスケールで考えてしまうことがあります。でも、その前に、自分の身近な人や事に目を向けながら考えていきたいです。また、自分だけでできればいい、周りは関係ないなどと考えるのではなく、自分には何ができるのかという思考をもち、行動していきたいです。そして、「自分の中のもう一人の自分にはうそがつけない」という言葉が心に残っています。いくら他人にうそをついても、自分にうそをつくことはできないなど、改めて実感しました。だから、今後は、少しでも正直で誠実に生活していきたいです。

7月3日4時間目には、「いじめを考える日」とし、生徒会が全校にアンケートをとり、その結果をもとに、「誰もが安心して過ごすことのできる長森中」にしていくために、これから、どのように取り組んでいくかを話し合いました。多くの学級で、自分事として、精一杯考える姿がありました。また、学級委員が、仲間の意見をまとめ、今度の学級の在り方を熱心に話す姿がありました。そして、担任が、あなたの命がいかにか大切に切々と語る姿もありました。

明日からも、生徒と共に、自分も仲間も大切に作る姿を求めて歩みを続けていきます。